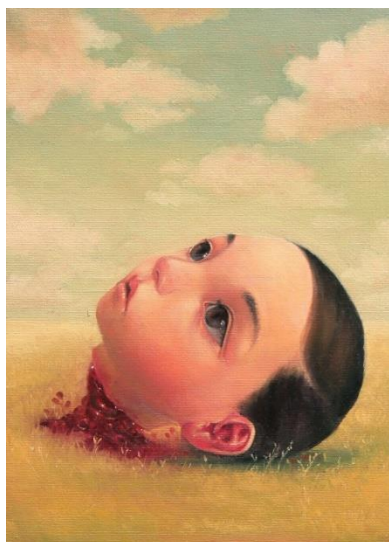


東南アジアの若手作家 11 人が集結するグループ展
「Neo-Animism: 11 Artists of Southeast Asia」
10月8日より√K Contemporaryにて開催！



√K Contemporary (ルート K コンテンポラリー/東京・新宿)では、2022年10月8日(土)～10月29日(土)にかけて、東南アジア出身の若手作家 11 名の作品を集めたグループ展「Neo-Animism: 11 Artists of Southeast Asia」を開催いたします。



Roby Dwi Antono
Dara Dan Tanah, 2015
Oil on canvas
35.5 x 25.5 cm

現在、経済成長著しい東南アジア諸国では、その目まぐるしい変化の中で多くの才能が開花し、世界から注目を集めています。今年、ドイツ・カッセルで開催されている「ドクメンタ 15」でインドネシアのアートコレクティブ、ルアンプルパが芸術監督に任命されたことから、その期待値の高さがうかがえるでしょう。

本展では、グローバルアートシーンで活躍するアーティスト、11名の作品を展示いたします。

日本国内で海外のアーティストの作品を見て、購入する機会は少なく、大規模なアートフェア以外ではあまりありません。しかし、グローバルな感性に触れていくことで、日本のアートシーンに起爆剤を投じ、よりグローバルな市場への一歩を踏みだせるのではないかと私たちは考えています。

少子化に向かう日本社会は、これからますます他国からの移民が増え、

「多国籍国家」となっていきます。そんな時勢の中で、私たちは民族間の「違い」を超え、「共通項」に焦点を充てて世界と共存していくという意識を再認識することが必要なのではないか。そして、人類の共通言語であるアートが今後の私たちの在り方を考えるきっかけになるのではないかと考えています。

本展に出展するアーティストは皆、多民族、多言語、多宗教という多様な文化の中で暮らし、それぞれの制度、教育、情勢の中で養われた純粋な魂をのびのびと芸術に昇華しています。世代によるメディアやエンターテインメントの影響も色濃く画面に現れる中で、今まさに自分達の想像力や感性を表現世界に構築し、それを土台にアジアの新たなアートシーンを創出しています。思考の中だけで展開されていた夢幻や空想の世界を現実社会に落とし込もうとするかのような彼らの豊かな創造力は新しい時代へ向けて、世界の見え方を少しだけ変えようとしているのではないのでしょうか。

彼らの作品から発信されるポジティブな姿勢に、私たちはアジアの新しい美術市場の幕開けを予感しています。

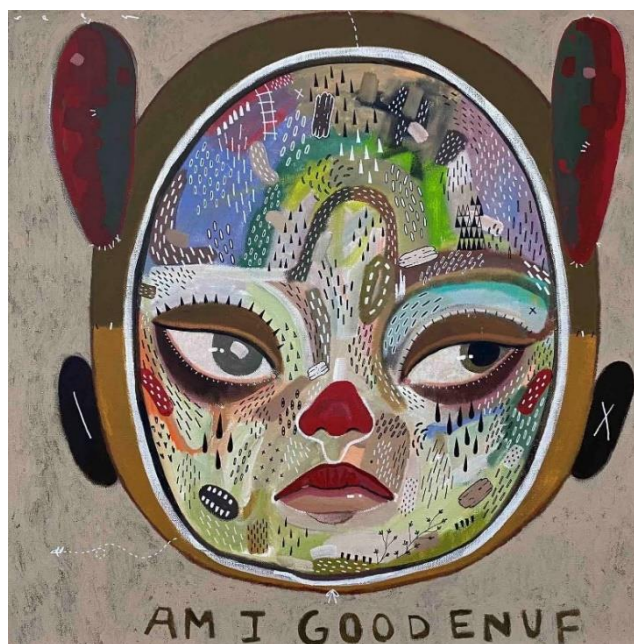
平面、木彫、立体等、多様な作品群を通して見える彼らの視点や感性をぜひ感じてみてください。

■ 本展の見どころ

新進気鋭から中堅作家まで、東南アジアのこれからを担うアーティストが集結！

マニラを拠点に多くの作家を取り扱う Galerie Stephanie との共同キュレーションとなる本展では、フィリピンやインドネシア等の東南アジア諸国を拠点に活動する作家たちの旧作、新作含めた約 30 点を展覧します。海外で人気の高い Roby Dwi Antono や Mr.S、Sid Natividad、Farley del Rosario など今後が囑望されるアーティスト達が一堂に会す、この機会をお見逃しなく！

2つのセクションで見る多様な作品群



本展では、多様な作家たちの作品群を 2 つのセクションで展示いたします。

ひとつのセクションでは、漫画や特撮ものといった日本文化の影響を垣間見ることのできる「キャラクターアート」につながる作品群。

そして他方では、超写実的なシュールリアリズム作品など、空想世界と現実社会を描き出した作品群を展示いたします。

Reen Barrera
Am I Good Enuf, 2022
61 cm x 61 cm
Acrylic on canvas

■ 出展作品



Mr.S
Underneath The Skin, 2022
121.9 x 91.4 cm
Acrylic on canvas



Top) Arnold Lalongisip
Wonderment, 2022
91.4 x 121.9cm
Acrylic on canvas



Bottom) Renz Baluyot
On A Silent Plain, 2019
60.9 x 76.2cm
Oil on canvas



Farley del Rosario
Vincent, Look Over There! , 2022
61 x 61 cm
Acrylic on canvas



Imam Santoso
The Dead Tree Shadow, 2021
100 x 80 cm
Acrylic on canvas



Erikson Arcilla
Rakuyou, 2022
121.9 x 91.4 cm
Oil on canvas



Lyndon Maglalang
Untitled, 2022
81 x 61cm
Acrylic and dry paint on canvas



Sid Natividad
After The Storm, 2022
61 x 45.7 cm
Oil and resin on wood



Genavee Lazaro
Cactus Friends at Sea, 2022
20.3 x 17.7 x 17.7cm
Stoneware, wood, rattan, japanese paper, emulsion, bulb

■ 共同キュレーター | Galerie Stephanie

Galerie Stephanie は、2007年に設立されたマニラを拠点とするフィリピンを代表するコンテンポラリーアートギャラリーです。フィリピンのアーティストをはじめ、インドネシアや日本といったアジア圏のアーティスト達を世界のアートシーンに紹介しています。自国と海外の境界をなくし、地元のアーティストを海外へ、海外のアーティストを国内へと広げる様々な企画展を開催、また国際的なアートフェアにも精力的に出展し、アジアのアートシーンの創出を行っています。

Web | <https://galeriestephanie.com/>

IG | @galeriestephanie TW | @galeriesteph FB | @Stephanie.Galerie

■ 「Neo-Animism: 11 Artists of Southeast Asia」開催概要

企画展名 | 「Neo-Animism: 11 Artists of Southeast Asia」

出展作家 | Arnold Lalongisip, Erikson Arcilla, Genavee Lazaro, Imam Santoso, Mr.S, Renz Baluyot, Roby Dwi Antono, Farley del Rosario, Lyndon Maglalang, Sid Natividad, Reen Barrera

会期 | 2022年10月8日(土) ~ 10月29日(土) *日・月休廊、祝日開廊

会場 | √K Contemporary (ルートKコンテンポラリー)

Address : 東京都新宿区南町6

Tel : 03-6280-8808 / Email : info@root-k.jp

企画展 Web | <https://root-k.jp/exhibitions/>
入場料 | 無料
主催 | √K Contemporary
協力 | Galerie Stephanie

* 作品の販売は先着順となります。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開催内容が変更となる可能性がございます。何卒ご了承ください。

ご来場の際は、マスク着用及び検温、手指のアルコール消毒に御協力ください。

√K Contemporary について

√K Contemporary は、次世代を担う優れたアーティストを広く紹介していく場として、2020年3月神楽坂にオープンしました。先人達の芸術思考を学び、その審美眼を以って主に戦後から現代、そしてコンテンポラリーアートを幅広く紹介するこのギャラリーには、時空や国境を越えて芸術の本質に触れる場を作りたい、という想いが込められています。

公式 HP : <https://root-k.jp>

TW : @rk_contemporary | FB : @rootkcontemporary | IG : @rk_contemporary

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

√K Contemporary (運営: SEI-RIN Co.,Ltd.) 担当: 渡邊

東京都新宿区南町 6

Tel: 03-6280-8808 | Email: pr@sei-rin.com | URL: <https://root-k.jp>